

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	34名

1. 使用状況

寄贈物品名	山型雲梯
使用学年及び人数	幼稚部 11名 小学部 11名
使用頻度	学期期間中 ほぼ毎日
使用状況	本校中庭に設置しており、幼稚部幼児、小学部児童が休み時間に遊んだり、運動遊びや体育の時間に握力や全身筋力、バランス感覚養成などの体づくり運動に、昨年に引き続き使用しています。
物品の使用による変化や効果	今年度も、身体を使って力強く進む小学生の姿を見て、幼児も挑戦しようとする姿が多く見られます。昨年より、継続して使用することにより、ぶら下がるのが精一杯の子どもが、雲梯を一つずつ進んだり、間をとぼしながら進むことができるようになりました。また、年中や年長になると、徐々に棒をしっかり握り、体を揺らしながら前に進むコツをつかみ楽しめるようになってきました。休み時間だけでなく、運動遊びの学習の中にも取り入れ体づくりにもとても役立っています。 小学部児童は、今年度も友達同士で会話をして楽しんだり、声を掛け合い遊んだりする様子が見られます。互いにできる技を見せ合うことで、もっとできるようになりたいと意欲的に取り組む中で、体づくりに役立っています。
今後の活用の見通しや課題	安全基準を満たした雲梯の設置により、幼児・児童が活発に活動しております。引き続き、幼児から児童の遊びや運動の時間に活用していきます。
その他希望や所感など	今後も大切に使用させていただきたいと思います。御支援いただきましてありがとうございました。

2. 活用の様子

幼稚部幼児 小学部児童 休み時間などの活動の様子

